

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1981 8・9

本年は役員選挙の年

— 選挙管理委員会 —

本年は新年度（57.4～59.3）の役員選挙の年です。
以下のスケジュールで選挙を実施しますので、正会員各位
の積極的なご協力をお願い致します。特に〆切日後の到着
がないようご留意下さい。

通信選挙実施大日程

①	推薦候補者推薦書〆切り	9月30日 （事務局着）
②	選挙公報・投票用紙配布	10月26日
③	投票〆切り	11月25日 （事務局着）
④	開 票	11月30日
⑤	報 告	'82年1月下旬

尚、お問合せは事務局03-403-3649まで。

（委員長：工藤 広忠）

目 次

● 本年は役員選挙の年	1
● 「ビエンナーレ」準備委スタート	2
● 企業の商品開発	2
● 56・第2回理事会議事録	3
● IFI総会（ヘルシンキ）出席代表団帰国	5
● 日本パッケージデザイン協会が社団法人に	5
● 暮らしを創る'81クラフト展	5
● 「大阪デザイン団体連合」設立の機運	6
● JETROの80年代ビジョン	8
● 展示会3題	10
● 会員の消息	10
● 事務局短信	13

役員改選のお知らせ

— 選挙管理委員会発足 —

昭和57年4月～59年3月までを任期とする次期役員を選ぶ通信選挙がいよいよスタートしました。8月中旬より事務局では準備に入り、9月1日以下の方々により選挙管理委員会（〇印委員長）が発足しました。

〇工藤 広忠（名誉会員）

馬場 敏（準会員・関東）

坂山 正一（ " " ）

松岡 和吉（ " " ）

宮嶋恵美子（ " " ）

脇田 正彦（ " " ）

鹿兒島美枝（事務局）

伊藤 公子（ " " ）

役員選挙は、お手元の会員名簿（P14～16）に「役員選挙規定」が収録されています。協会の正会員にとっては、選ぶこと、選ばれること両方の意味で最も大切な権利の行使です。次期の事業推進の梃とりとなる役員として有為のメンバーを選びたいと思います。棄権のない正会員全員参加の選挙としたいものです。

（事務局）

「ビエンナーレ」準備委スタート

— 大阪デザインコンペ —

大阪市で2年に1回開かれることになった「国際産業デザインビエンナーレ展」の準備委員会が正式に発足し、20日東京で初会合を開いた。わが国で初めて本格的な産業デザインの国際コンペティション（提案競技）などを行う同展は58年秋に1回目の開催が予定されている。

準備委員会は岸昌大阪府知事や大島靖大阪市長、稲山嘉寛経団連会長、永野重雄日商会頭、日向方斉経団連会長ら20人で構成。JIDからは三輪理事長が出席した。

同委員会は実質的な作業を行う組織として準備委員会の下に運営委員会と実行委員会を置くことも決定、運営委員会の委員長には総合デザイナー協会理事長である佐治敬三・サントリー社長が選ばれた。

JIDからは運営委員として関西支部長の川崎浩理事が

参加した。

また、大阪府は9月補正予算案に「国際産業ビエンナーレ」の基金など1億4千4百万円を計上することを決めた。「ビエンナーレ」は総額8億円の基金を持つ財団法人が中心になって運営されるが、負担割合は日本自転車振興会の補助金4億円、残りの4億円を大阪府、大阪市、関西財界が3分の1ずつ負担する。

「国際産業デザインビエンナーレ展」は「モノ中心」の産業活動から脱皮して、文化的な産業交流を目指そうと通産省や大阪府、大阪市、関西財界などが計画。内外のデザイナーから公募するデザインのコンペティションと、過去数年間に製品化されたものの中から優秀なものを表彰するという2本立てで、賞金は総額10万ドル（約2千3百万円）が予定されている。

（この項56・8・21日経を参考としました）

企業の商品開発

— デザイン研修・中部支部で協催 —

昨年、一昨年と、中部事業支部でのデザイン研修も本年で3年目を迎えた。

ますます、個性化、トータル化を指向する消費者ニーズと、社会的制約の強化される今日、私達の生活に「豊かさ」と「うるおい」を提供しなければならない企業の商品開発と、そこにたずさわる人には「豊かさ」と「人間らしさ」が要求されます。

当研修は、若い商品企画、開発活動にたずさわる方々を対象として、広範な分野から専門の講師を招き、ケーススタディ的内容と演習をもとに考え合い語り合う事を通して資質の向上を図ることを目的に開催するものです。

以下概要です。

- ① 主催：愛知県、JID、中部デザイン協会、中部クリエーターズ・クラブ、財生活用品振興センター
- ② 期間：56. 10. 12（月）～11. 18（水）17日間
- ③ 会場：財生活用品振興センター名古屋支部
- ④ 募集人員：30名
- ⑤ 申込期限：56. 10. 9
- ⑥ その他：JIDからも小松曉一、宇賀敏夫、渥美孝道、長坂信の会員が講師に予定されています。

56・第2回理事会議事録

日 時 昭和56年7月24日(金) 1:30~5:00 PM

場 所 JAA3階会議室

出席者 理事長 三輪正弘

副理事長 泉 修二

名誉理事 豊口克平

理 事 榎田 均, 木村戦太郎, 坂本康四,

白石勝彦, 垂見健三, 富田卓司,

中村圭介, 樋口 治, 松本政雄,

監 事 渡辺 力

(委任状) 川崎 浩, 長 大作, 長岡貞夫,

渡辺 優

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。泉副理事長補佐にて、報告事項より審議に入る。

1. 報告事項

① 第13回通常総会報告

去る5月22日、大阪での通常総会は当日出席正会員54名、委任状提出186名、合計240名に達した。議事も事業報告、計画案とも承認され無事終了した。祝賀会出席は81名であった。

尚、翌日の研修会も河内民家見学31名、ポートピア見学7名で成功した。

② 選考委員長に白石勝彦会員

新年度(56・57年任期)の第1回選考委員会が7月3日開かれ、委員長に白石勝彦さんが選ばれた。また同時に野口記念事業についても審議され、運営部会を設け田中聰行、中田重克両会員の協力を求めることとなった。

③ 委員会メンバー一覧表

本年度より教育・事業・業務の3委員会が新たに発足したこともあり、委員会のメンバー一覧表が事務局より提出された。

尚、泉副理事長より教育・事業両委員会について補足説明が加えられた。

④ 『日本のインテリアデザイン』7月刊行

7月1日、創立20周年記念事業の一環として進行中

であった上記の記念刊行物が、(株)六耀社との協力のもと、無事出版された。会員にはすでに内容パンフレット、申込ハガキで案内済であるが、逐次「JID NEWS」などでPRをして行く予定。当面の頒布計画は、会員関係200冊である。今後、関係筋に事務局長名で拡販要請をする計画となっている。

⑤ 借入金報告

前理事会で承認された借入を予定通り太陽神戸銀行青山支店より行った。6月29日100万円借入。6月30日印刷費支払の一部に充当した。返済開始は7月末日。5ヶ月均等払いである。

⑥ 大阪デザイン団体連合(略称:大デ連)

JIDが幹事団体の形で、かねてより進めていた大阪デザイン団体連合が今秋9月、設立の見通しである。すでに建築、ファッションデザイン団体などを含む19団体に呼びかけを行っている。当初、関西デザイン団体連合の構想が大阪地区に絞られて来た。次回理事会に継続して報告したい。以上川崎理事の意向とともに樋口理事から報告された。

⑦ 協賛関係

以下の5件について、事務レベルで協賛の用意をした、と報告あり。理事会はこれを了承した。

イ. '81設計の能率化展

(日刊工業新聞社 56.9.16~19 大阪)

ロ. 第5回大阪産業デザインコンテスト

(大阪デザインセンター 56.7~57.1 大阪)

ハ. '82ショップ&ディスプレイショウナゴヤ

(名古屋ディスプレイ協組 56.12.17~18 名古屋)

ニ. '82 JAPAN SHOP

(日経及店舗システム協会 57.3.4~10 東京)

ホ. '81 トータルインテリアショウ

(インテリア産業協議会 56.10.30~11.3 東京)

⑧ 財政報告及監査報告

事務局長より配布資料に基き財政状況が報告された。その主な点は①会費の入金状況は賛助会員を除き昨年度を若干下廻っている。

⑨過年度の未納会費の合計が204万円に達し、昨年同期の104万円を約100万円超となった。これが借入金100万円と無関係ではありえない。⑩事業年度の初期で、予算の実行はまだ大きくない。⑪通産受託事業等については次回理事会で報告できる見込である。

続いて、渡辺監事より監査報告がなされた。「本日の理事会に先立ち、監査を行ったところ、内容においてすべて正当であるので報告します」理事会は上記二項を承認した。

⑨ 事務局・夏のスケジュール

8月10日(月)、13(木)、14(金)の3日間夏季休暇を実施する旨、事務局長より報告された。

⑩ 複写機の新規リース

かねてより予定されていたコピー機械の入れ替えを行った。新機種はキャノンNP 201で、A3～B5、ハガキいずれも表裏のコピーが可能である。会員利用はサイズに関係なく1枚15円である。「JID NEWS」で会員に周知する方向である旨報告された。

Ⅱ. 議 題

泉副理事長進行にて議事を進めた。

① 新年度の事業推進について

① 総務委員会(中村委員長)——事業委員会新設に伴い、総務委員会担当集会は協会賞祝賀会である。本年度は「JID NEWS」の充実を図りたい。

② 広報委員会(長岡委員長)——機関誌『インテリアデザイン』No.94号は8月下旬～9月初旬に発行の予定で進行中。また、中部支部で会員の動静通信用としてミニパンフ作成の計画あり(松本理事)。九州支部では支部ニュース(A3版)を発行している。(坂本支部長)。

③ 渉外委員会(川上委員長)——8月1日開催のIFI年次総会には三輪、川上、渥美、島崎の4会員が代表として出席する。1987年日本開催の要請があった場合、前向きに取り組む姿勢を表明することになる。

ワーキング・グループの活動は通産省内のオフィス実態調査が終了し、問題提起を行った。引き続き、新庁舎の為の基本プラン作成に着手している。尚、

6月末にはエントランスホールのプレゼンテーションを行った。

④ 教育委員会(島崎委員長)——今秋、シンポジウムを開くべく、デザイン教育専門機関(大学、短大、専門学校、大学校など)の抽出を行っている。

⑤ 事業委員会(森谷委員長)——対外活動の充実を基本方針とし、事業支部活動と連携して進めたい。そのために各支部からも1名程度担当委員を決定してもらった上で、協力要請となる模様。昨年度のアンケート調査の集計結果も参考にしたい。尚、第3回目のデザイン研修セミナーを企画中である。

⑥ 業務委員会(諸富委員長)——「JID NEWS」6・7月号で報告することになるが、会員インデックス(仮称)の構想があり、関連団体・企業とのコミュニケーションを進めたいと考えている。公聴会及至アンケートで会員の意向を反映する線で、具体化に持って行く方針である。

⑦ 事業支部関係

・関西支部——総会・祝賀会が成功を見たので、更に支部の会員への連絡を密にし、事業の盛上げを図って行きたい。

・九州支部——「JID NEWS」6・7月号に詳細を掲載した。

本年は、デザイナーのコミュニケーション活動を印刷物等でなく、デザインされたものを中心に進めることができないか、検討してみたい。

・中部支部——北陸地区は小松院一会員を中心に活性化する方向を考えている。

「JID NEWS」にて6月3日開催した支部例会の報告をした。すでに11月までの事業計画(案)が決定している。

⑧ 新入会員の拡充について

関西支部川崎理事(案)が資料とともに、樋口理事から提案説明された。資料の示すところでは、現在の関西支部を例にとると、会員数増加の頭打ちがある一方で、企業内勤務デザイナーは大きな数になって来ている。こうした企業内デザイナーへの働きかけが欲しいのではないかと考える。これについては会員構成という観点からも今後の重要課題の1つとして検討を継

続して行くこととなった。

③ 役員改選制に対する調査及意見

総務担当の中村理事より資料に基づいて意見が述べられた。即ち、55・第6回理事会にて泉副理事長より提案があった内容について、現行の役員選挙規定を基に比較調査をし、その結果について意見を具申している。審議の結果、調査を続行することとなった。

④ 入退会関係

入 会

氏名(名称)		推 薦 者
小笠原 紀 男	正 会 員	斉藤 英夫, 小坂 浩永
大 木 雅 彦	"	山岸 征史, わたなべひろ
仙 石 卓 三	"	野口 茂, 川崎 浩
佐々木 桂	"	中村 隆一, 川崎 浩
大 成 建 設 (株)	賛助会員	山本棟子会員紹介
日本インテリア(株)	"	渥美孝道 "
スナバ産業(株)	"	佐戸川清 "

退 会

氏名(名称)		備 考
箴 島 征 男	準 会 員	会費納入済
野 原 寿 二	"	"
菅 野 利 重	正 会 員	
橋 本 勉 二	"	会費納入済
(株) ニ ッ ク	賛助会員	会費納入確約済

以上の件につき資料に基き審議され、いずれも承認された。次回は10月2日(金)の予定

(以 上)

IFI総会(ヘルシンキ) 出席代表団帰国

8月2日に開かれたIFI通常総会に出席のため渡欧した代表団(三輪正弘理事長, 川上玲子渉外委員長, 島崎信教育委員長, 渥美孝道渉外委員)は、10月初旬帰国の川上さんを除きその大任を終え全員無事帰国した。ご苦労様でした。8月3日~8日は世界初のデザイン団体ジョイン会議(インテリア・IFI—インダストリアル・ICSID—グラフィック・ICOGRADA)が持たれ、これにも出席予定の討議を終えた。同時に意義ある相互交流の実を

挙げて来た。渉外委員会では現在、川上委員長の帰国を待って、昨年のウィーン会議と同様各事業支部単位で報告会を持つよう計画している。なお、代表団は7月発刊の『日本のインテリアデザイン—光とのかかわり』を持参、各国代表団にその内容を紹介したことを付記します。

(文責:事務局)

日本パッケージデザイン協会が 社団法人に

JIDとともに日本デザイン団体協議会のメンバーである友好団体、日本パッケージデザイン協会(JPDA・八尾武郎理事長)が、去る8月13日付で、社団法人格を取得した。本年は創立20周年記念行事も終え、JPDAにとっては二重の喜びとなった。JID会員一同、心よりお慶びを申し上げます。

挨拶状によれば、「パッケージデザインの社会的責務をまっとうすべく、さらに努力する所存」とあり、今後とも益々のご発展を祈りたい。因みに所属会員は個人317人、法人88社と、パッケージデザイン界では唯一最大の規模となっている。

暮しを創る'81クラフト展

— 日本クラフトデザイン協会 —

今年で22回を迎えた同協会恒例のイベント「'81クラフト展」が東京松屋で、去る9月4日(金)~9日(水)の6日間開かれた。今回の特徴は受賞作5点の中、4点までを一般公募の作品が占めたことで、レベルの向上がうかがえた。また、金属製の間仕切りなど、インテリア空間で使用される大物なども増える傾向にあり、素材の選択、価格の適正に加え安全性を充分考慮するという一項が選考基準に加えられている。日本クラフト賞は「銀線のパターンによる鉢のシリーズ」(武田武人作)に与えられた。新人賞は「石の器」(中島万須夫作)と「インテリアバスケット」(藤井啓太郎・順子作)、また、優秀賞は「洗朱盛皿」(十時啓悦作)、「タピストリー—青い二枚貝」(佐伯和子作)の計4点が受賞した。9月4日の授賞式には三輪理事長、山品事務局長が出席したが、折から'81デザインフォーラム展の会場と隣接でもあり、会員の顔も多数見え、楽しい雰

困気となった。

(G・Y)

協力してきたことをお伝えします。

(G・Y記)

『日本のインテリアデザイン』 申込受付中

前号でお知らせした『日本のインテリアデザイン』の申込を受付けています。同封のハガキでお早目にお申込み下さい。

定価 14,800 円を会員特別価格 13,300 円

(送料 500 円共)

会員外でも会員紹介で、特別価格購入が可能です。
関係先へおすすめ下さい。

「商施連」5 周年大会

商施連は今年社団法人結成 5 周年をむかえ 9 月 1 日防災の日に三越文化センター(東京呉服橋)で記念大会を盛大に開催しました。参加者は加盟 11 団体の代表者と商業施設士で、これからの商業空間を考えるホールラムや、記念式典、基調講演、パーティーなどで、JIDからは、三輪理事長、山品事務局長がお祝に出席しました。

尚、JIDからは、樋口・岡村・川崎の三氏が、商業施設の発展に寄与した役員として表彰されました。

選考の基準は、団体役員歴と事業歴の長さにより加盟団体各 3 名の枠で申請されたものです。

「大阪デザイン団体連合」設立の機運

在阪デザイン団体の有志が集まり、今春より設立準備が進められている。大阪地区の各デザイン業界が大同団結して文化的振興に対応できる総合的な意味での組織体を作ろうというもの。折も折、「国際ビエンナーレ展」の大阪開催決定や、「大阪 400 年祭」の開催など、にわかに大阪は賑やかになって来ました。発起団体は JID など 7 団体で設立準備事務局は大阪デザインセンター内に設けられた。現在、規約(案)も整い、準備委員が精力的に飛び回っていますが、

10 月 30 日頃には、その旗上げ会が開かれる模様です。

JID でも関西支部長の川崎理事をはじめ全役員、会員が

「DAS」創立 25 周年を迎える

DAS(社団法人総合デザイナー協会・本部大阪 佐治敬三理事長)では本年度で創立 25 周年を迎えた。去る 9 月 11 日(金)、大阪コクサイホテルで、関係筋多数を迎え記念式典を行った。会員で DAS にも加入している会員もあり、JID からは理事長代理の川崎理事をはじめ多数の方々が式典、それに続く祝賀パーティーに出席した。

第 1 回事業委員会報告

昨年 11 月の理事会以後、数回の論議が重ねられ、今年の第 13 回通常総会において、事業委員会が正式のものとなりました。

事業委員会が担当していく仕事については委員会細則でつぎのようになっています。

- 1) 全国的な規模で実施する事業に関すること。
- 2) 共催または協賛事業に関すること。

第 1 回の事業委員会に先立ち、まず、これまでの経過の整理と、今後の進め方のタタキ台づくり、さらに、委員の人选と調整を行い、パイプ役としての泉副理事長と何回か話し合いを重ねました。

そして、去る 9 月 4 日、遅ればせながら第 1 回事業委員会を開催、当日は泉副理事長にも出席を要請し、つぎのことを議題としました。

- 1) これまでの経過説明
- 2) 基本方針の検討
- 3) 全国会議の準備

そこで論議された要点はつぎの通りです。

- 1) 協会のこれまでの事業を改めて振り返ってみると、その都度といった形の特別委員会で事業が行われたり、さらに、その場だけで終わってしまったものもある。それは、各支部相互をつなぐ上でも、必ずしも充分ではなかったようだ。
- 2) なにかにつけて、会員からの要望、協会としての主張、事業としての効果といったことを考えると、経常

事業としての、いくつかを持つことが必要なのではないか。

- 3) 経常の事業活動の狙いどころとしては、次の2点があげられる。

イ) 対外的活動の充実

協会の対外的事業活動を旺盛にしていくことにより、協会の存在を知らしめ、対社会との接点を深めていく。

ロ) 連携事業と連帯意識の向上

4支部を結ぶ、全国的連携事業を経常化することにより、会員相互の連帯意識を高めていく。

- 4) そのためのテーマとしては、既知的なものと未知的なもの、また、その対象者も、特定、不特定があり、事業の基本的土台づくりとして、今後、充分に考えていく必要がある。

- 5) 財政的問題は、やろうとすることと、背中合わせの問題であり、〈テーマ・人集め・金集め〉といった関係の中で、新しい切り口を考える必要がある。

- 6) 全国的規模の事業という性格から、一応のタタキ台が出来たところで、全国会議(4支部代表の事業委員を含めて)を数回、開催して、来春を目標に計画案を作成する。

以上の通りですが、今後の委員会の中で、徐々にその方向を明確に出来ればと考えております。

ご参考までに、調査特別委員会が、一昨年から昨年にかけて行った、80年代の会員と協会に関するアンケート調査の結果を再録してみますとつぎようになります。

- 正会員の平均回収率 61.8%
- 協会の活動への関心度 60.6%(正会員)
- 社会的啓蒙や広報活動の必要性を求める声 87.5%(正会員)
- 最も必要と思われる分野はエンドユーザー 68.1%(正会員)
- 作品・研究を発表するチャンスを望む声 57.5%(正会員)
- どのような発表形式がよいか
展覧会 25.7% 機関誌 26.5% 研究発表会 14.6%
パネルディスカッション 14.2%(いずれも正会員)

〈事業委員会〉

委員長 森 谷 延 周
委員 秋 山 修 治
内 村 麗
海老沢 宏
岡 部 史 子
阪 井 良 種
寺 原 芳 彦

(9月4日現在、追って各支部の事業委員を追加します)

(事業委員会・森谷延周)

モデルホーム マーチャンダイジングセミナー

— JID協賛で開催 —

表題のセミナー案内書はプロモーターのハウジング・エージェンシーから会員各位へ配布されましたが、事務局にも残部若干あります。ご希望の向きはご請求下さい。

- 主 催 財団法人日本ツーバイフォー建築協会ほか3団体の共催

- 会場及び会期

〈東京〉 56.10.7(水) 9:00AM~4:20PM

東邦生命ホール

〈大阪〉 56.10.9(金) 9:00AM~4:20PM

- 講 師 キャロル・アイケン氏(キャロル・アイケンインテリア会社社長)

藤井和子氏(ハウジング・プランナー)

- 参加費 1人28,000円(テキスト、昼食代とも)

- 申込及び問合せ先

〒160 東京都新宿区西新宿7-22-34

電話 03-361-4076

日本文化デザイン会議'81仙台

昨年、7月3・4日と2日間にわたり横浜会議を開いて成果を収めた同組織は、今回会場を仙台に移して、10月8・9日〈'81仙台会議〉を開く。議長に山本七平、副議長に井上ひさし両氏を選び、会場は宮城県民会館など15会場を予定している。

・問合せ先

〈事務局〉

〒100 東京都千代田区丸の内2-7-3

東京ビル6F 博報堂内

日本文化デザイン会議事務局

電話 03-240-7058

JETROの80年代ビジョン

— 輸出振興第一の路線を変更 —

日本貿易振興会（ジェトロ）は4日、80年代のジェトロの事業のあり方を示した報告書「80年代ジェトロ・ビジョン」をまとめた。それによると、これからのジェトロは輸出振興中心から、貿易摩擦回避や経済協力など「調和ある貿易の発展」に努める必要があるとし、インフォメーションバンク機能やシンクタンク機能を強化するなど、貿易に関する情報・研究機関の役割を重視するという。輸出振興の時代が終わり、ジェトロの存在理由を問われているが、今回の報告はこれに対する答えというべきものである。

1958年に設立されたジェトロは60年代を通じて輸出振興に特化していたが、70年代以降、輸入拡大、発展途上国への協力など多角的な貿易の発展に寄与する事業を行い、輸出関連事業の比率は全体の15%に低下した。80年代もさらに新たなニーズに対応し、貿易摩擦の回避、発展途上国の貿易・産業への協力、経済安全保障確立への貢献、中小企業国際化への支援などの分野を担う方向で事業を進めるという。

このためジェトロは、①情報を収集、分析、加工し、提供する「80年代を乗り切るレーダー」②諸外国との相互理解を促進するための機関 ③発展途上国への経済、技術協力を補完する情報協力機関 ④中小企業国際化のためのサポーター — という4つの役割を果たすとしている。

そこで、情報の収集から提供までを一貫して行うインフォメーションバンク機能、調査・研究によって提言をするシンクタンク機能、諸外国との交流を深める国際コミュニケーション機能、時代の要請にこたえた事業を企画、運営するプロモーター機能、中小企業国際化を支援する中小企業サポーター機能の5機能を改善強化する。

（日経9月5日号抜粋）

百万塔と古代鉋のレポート

— 注目される成田寿一郎氏の研究 —

日本建築学会論文報告集300号には、千葉大の成田寿一郎氏の百万塔製作技術に関する研究が掲載されている。

それによれば、奈良時代4年8ヶ月の間に100万の小塔を作ったもので日産700ケの量産であるが、現存する遺品を詳細に調べ、用材（檜・桂）、木取・加工法・工具などを推定し、実際に復原して見て、当時の作業組織やロクロの台数など想定している。

その結果、塔身用材は径1.5m長さ4mの丸太2083本必要で、中心部の残材は、西大寺の建築用材として使われたのではないかと、作業所要時間は1基2時間で、ロクロの台数140台になるとのまとめをしている。

また古代の鉋についての実験的研究を行ない、同報告集292号に発表しているが、これでは、正倉院の工芸品36点の板の矧き合せ部分の精度をX線照査で調べ、正直（桶屋が矧き口に使う6尺ほどの台付の工具、材料を動かしける）と類似の工具の存在を実験的に立証している。

今迄で建築大工の工具中心に木工具史が作られ、台鉋の使用は16世紀とされていただけに、指物用工具として独自の発達を立証するものとして注目される。

（中村圭介）

— 大阪産業デザインコンテスト —

今年は第5回目を迎えました。以下概要です。応募要項は直接下記へ請求して下さい。

- ・受付搬入 56.11.12(木)～14(土)
10:00AM～4:00
- ・発表予定 57.1.12(火)
- ・賞 金賞30万円ほか銀、銅、入選など。
- ・公開展示 57.1.19(火)～21(木)
- ・会場 大阪デザインセンター2階
特別展示場
- ・要項請求及び問合せ先

〒541 大阪市東区船場中央2-2
船場センタービル4号館2階
電話 06-262-5661

ミサワホーム国際設計競技'82

「第7回ミサワホームプレハブ住宅国際提案競技'82」については、JID NEWS 4・5月号にてお伝えしました。〆切りは57.1.10ですが、賛助会員ミサワホーム(株)の同コンペ事務局より下記のように中間報告が参りましたので、その抜粋を掲載します。

・テーマ「長生きする家」中間報告

現在、世界23ヶ国530件、応募要項の申込みを受けています。アメリカ236、日本176、フランス28、西独23、カナダ14、イタリア11、オーストラリア10、以下インドネシア、ベルギー、トルコ、イスラエル、オーストリア、オランダ、イギリス、スウェーデン、スイス、ポルトガル、ギリシャ、モロッコ、インド、バンラディシュ、ペルーなど。

ミサワ事務局では、奮って応募、周知方を依頼して来ておりますのでお伝えしました。

(事務局)

サンフランシスコ便り

初夏に一時帰国したものの、きつい日程のビジネス旅行で、友人、知人にもあまり会えなかったのは残念でした。米国に戻ってからは、相変わらず、ザ・バーディック・グループでハーマン・ミラー社のためのオフィス用家具システム他を手がけています。もはや家具とも云えないような複雑で広範な対象になりつつありますが、最近我が事務所にCAD(コンピューター・エイディッド・デザイン)の機器一式が入り、来週からは私も扱いの講習を受けることになったりで、オートメティッド・オフィスの趨勢を身近かに感じる昨今です。

先月中旬にはスタンフォードデザイン会議に参加しました。アスペン国際デザイン会議などに比べると小規模で、参加者も米国内とカナダからのみであり、会議と云うよりは、盛りだくさんの講演会といった感じですが、その内容については定評があります。美しいスタンフォード大学のキャンパスを巡りながら、各講師を小グループで囲んで質疑応答の続きをしたり、カフェテラスや芝生の上で食事を共にできるのも一つの魅力。今回は基調講演を私のボスの

ブルース・バーディックが行い、講演者の1人にはクラブブルックの大学院時代の恩師、キャサリン・マッコイも招かれていました。

講演の中では、極立ってテーマ数の増えたコンピュータ関係のものと、英仏海峡を初横断した例の人力飛行機、「ゴスマー・アルバトロス」号の開発プロセスの報告とを興味深く聞きました。ゴスマー・プロジェクトについては、講演者のスタンフォード大学教授モートン・グロサーが開発チームの一員で、しかもつい最近、このテーマで「ゴスマー・オディッセイ」という著書を発表したこともあって、なかなか詳細なもの。自分の力で空を飛びたいという単純素朴な夢を実現するために、ぼう大なエネルギーと資力とユニークで精緻な開発プロセスとを注ぎ込んで、ひたすら突き進んで行く様子や、仲間の1人、エンジン兼パイロットが3時間近くもペダルをこぎ続けたあげく、ようやくにしてフランスの海岸に着地した瞬間などには心打たれました。かつて、カリフォルニアの牧場地帯に延々40キロにわたって布の幕を張り巡らし、ついに太平洋の海中にまで至ってしまったあのクリストのランニング・フェンス・プロジェクトについて見聞きしたときには大変な興奮を覚えましたが、この国には、何かこうした並外れたスケールのイメージを実現させてしまう土壤、エネルギーというものがあるようです。

ゴスマー・プロジェクトは、英仏海峡横断飛行に成功するまでにすでに、軽量強靱な新素材の開発に関わっていますが、現在、プロジェクトチームは、引き続き太陽熱利用の低速飛行機の開発を行っていて、つい最近、飛行にも成功。講演の中でもスライドで紹介されました。翼の上面にずらりと黒いソーラーセルがとりつけられている様は、ちょっとした漫画を見るようなユーモラスな感じです。太陽エネルギー利用については、各地で建築への大規模な応用を多々見かけるようになりました。太陽エネルギー利用と云うほど大きなものではありませんが、スカイライトがインテリア・スペースにもたらす効果のほども、ふんだんな実例に囲まれていると、なるほどと実感できる気がします。

(在サンフランシスコ 清水忠男)

都バスの色再検討

都バスの色を批判した「公共の色彩を考える会」(委員 長小池岩太郎, 芸大名誉教授)の意見が通り, 東京都バスの色彩が再検討されることになりました。私も賛意を表した者の1人ですが喜ばしいことです。黄色と赤の組み合わせは, あまりにも目立って“人の気持をいらだたせます”公共の建物のあり方についても, われわれ, もっと関心を持つ必要があると思います。

新幹線の室内なども, もっと楽しいものにする必要があるのではないのでしょうか。(K・N)

'81トータルインテリアショウ

恒例となったトータルインテリアショウも本年度で6回目の開催である。今回は「変わる, 変えられるインテリア」ということがテーマとしてとりあげられた。時間・場所・機会など暮しの場面に応じてインテリアはこう変わる, 変えられる, あるいは増改築, 改装, 模様替え等のニーズにインテリアはこのように応える——という事例を具体的に示してみようということを意図したもの。J I Dも協賛しています。

・主 催 インテリア産業協議会ほか6団体

・会 期 56.10.30(金)~11.3(火)

・会 場 東京池袋サンシャインシティ(文化会館3・4階ホール)

・問合せは下記へ

〒105 東京都港区虎の門1-23-7

(第23森ビル7階)

'81トータルインテリア・ショウ事務局

電話 03-501-1276

'82ショップ & ディスプレイショウ ナゴヤ

中小小売店を主な対象として, 消費者の個性と地域性をとらえたディスプレイを形成することが現在最も要求されていることから, 今回名古屋の関連企業が一堂に出展することになりました。J I Dも協賛しています。以下概要です。

・テーマ 「個性化時代への対応」

・主 催 名古屋ディスプレイ協同組合

・会 期 56.12.17(木)~18(金)

・会 場 愛知県産業貿易館第1展示場

・問合せは下記へ

名古屋ディスプレイ協同組合

〒450 名古屋市中村区名駅南1-4-12

(ガーデンビル7F)

電話 052-581-5840・5841

第2回東京国際家具見本市

11月18日(水)より22日(日)まで東京国際見本市会場(晴海)で開催されます。今年は30ヶ国を超える参加国があり, 展示も6館にわたります。なお, 一般公開日は21日・22日となっておりますので, その前が混み合わないものと思われまゝ。

・問合せなどは下記へ

(株)国際家具産業振興会

〒105 東京都港区浜松町1-30-10

電話 03-436-2691

会員の消息

・林 寅正(所属している中部デザイン研究所より, 本年の「デザインフォーラム'81」にメンバーが応募, 銀賞と銅賞を得ました)

・八代美智子(この夏は南スウェーデンのエーランド島のカペラガーデン(学校)で木工の夏季講座を受けました。ここにはセラミックとテキスタイルと木工の工房と園芸がありました。欧州一の長い橋をわたり, 青い海, 咲き乱れる花, 一日中鳥の声が聞こえる所での時間はまたとない経験でした。)

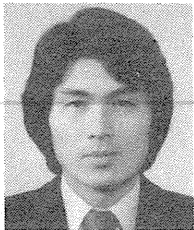
・葭原 基(7月末日をもって飛騨産業株式会社を円満退社致しました。30有余年に亘る在社中は公私共に御指導御厚情を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。これからは長い間学び経験しましたことを土台に心を新たに主としてインテリア関連商品の開発活動に努力を傾注したいと思っております。)

- 榎トミタ ("ビニールファブリックコレクションNo.5" を、7月中旬発売しました。国産ビニール壁紙としては最高級品をそろえてみました。"スプロフィル83"は8月中旬発売しました。西独の新しいタイプの高級ビニール壁紙として世界でもトップクラスの壁装材です。) 陽が恋しい季節になってしまいました。フィンランドの会議も先に帰国された方々にいろいろお聞き及びのこと
中央区京橋2-3-16
Tel 273-7551 (角田妙子)
- 川上玲子 (東京はまだ暑い日が続いているのではないかとありますがストックホルムはもう初冬の寒さで、2 ストックホルム)
- 岩倉栄利 (透明な風が吹いて来ました。いかがお過ごしでしょうか。去る9月11日オープンした渋谷 パル コミュニティ主催のデザインギャラリー (277回目) に「座る」PART3の3階にROCKSTONEを同時オープンし、テーマで展示されました。8. 21 ~ 9.9 まで、東京松屋ました。いわゆる家具ショップということをつとめて避 (7階にて。)
- 喜多俊之 (長大作さんご担当で、日本デザインコミッ

新入会員の紹介

●新入会員

正 会 員

おがさわら とし お 小笠原 紀 男 (会員番号 494) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	(株)三越本店 東京都中央区日本橋室町1-7 〒103-0 (03)241-3311 内線2629 神奈川県横浜市港北区篠原北2-17-10 〒223-0 (045)432-6070
おお き まさ ひこ 大 木 雅 彦 (会員番号 495) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	(株)日本設計事務所 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル50F 〒160-1 (03)344-2311 東京都世田谷区弦巻5-6-16-802 〒154 (03)427-2232

せん ぞく たく ぞう 仙 石 卓 三 (会員番号 496) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	松下電工(株) 大阪府門真市大字門真1048 〒570 (06)908-1131 大阪府枚方市楠葉朝日2丁目9-13 〒573 (0720)57-3090
さ さ き かづら 佐々木 (目) 桂 (会員番号 497) 	<勤務先・事務所> <自 宅>	ジャパン・インテリアプランニング株式会社 大阪府東大阪市長田東3-54 〒577 (06)747-5350 京都府京都市伏見区桃山南大島町71-18 〒612 (075)622-3048

賛助会員

大成建設株式会社	<住 所> <担 当 者>	東京都新宿区西新宿1-25-1 〒160 (03)348-1111 インテリアデザイン室室長 江 澤 壮之介 内線 7811
日本インテリア株式会社 五反田支店	<住 所> <担 当 者>	東京都品川区西五反田7-22-17 TOC916号 〒141 (03)494-3874 (代) 金 子 永 司
スナバ産業株式会社	<住 所> <担 当 者>	東京都台東区松が谷3丁目1-12 〒111 (03)843-6721~5 砂 庭 鉄 雄

● 会員の移動

正会員

会 員 名	移 動 事 項	新
尾 上 孝 一 (関 東) P42	事 務 所 ・ 自 宅	東京都練馬区南大泉1-19-11 (住居表示の変更)

会 員 名	移 動 事 項	新
中 村 昇 (関 東) P178	事 務 所 自 宅	ファニチャーデザイン ナッカ 札幌市中央区南二条西20丁目 ロータリー20ビル6階 〒064 札幌市南区澄川三条三丁目148-15 〒061-21

会 議

〔 予 定 〕

〔 7 月 〕

24日 56・第2回理事会

〔 8 月 〕

7日 総務委員会

28日 ワーキンググループ

〔 9 月 〕

4日 事業委員会

7日 ワーキンググループ

8日 広報委員会(関西)

〔 9 月 〕

14日 ワーキンググループ

16日 関東事業支部委員会

17日 業務委員会

18日 ワーキンググループ

22日 委員長連絡会

29日 事業委員会

〔 10 月 〕

2日 56・第3回理事会

総務委員会

寄贈図書 (・印寄贈者)

内 堀 繁 生 著	ファニシングデザイン資料集	7. 15	・鹿 島 出 版 会
・(財)日本クラフトデザイン協会	日本のクラフト CRAFT IN JAPAN	7. 15	記念出版委員会
光 藤 俊 夫 著	デザイナーのための家相読本	8. 31	・(株) 彰 国 社

事務局短信

- ① 今年は役員改選の選挙の年です。選挙は会員の権利行使の大切な機会です。棄権のないようにしたいものです。
- ② 『インテリアマップTOKYO'81～'82』が売り切れで迷惑をかけていましたが、増刷が出来ました。お申込み下さい。定価1,500円、会員特別価格1,200円、送料200円(1冊)です。
- ③ 『日本のインテリアデザイン』の申込ハガキを同封しました。会員多数のご購読をお願いしたい気持です。関

係先へもぜひご紹介下さい。

- ④ 今月から下期になりました。新年度、過年度とも会費未納の方、至急納入をお願いします。
- ⑤ 今年の夏は暑かったり涼しかったり。また、北海道など異常豪雨の地方もあり、地方会員の中にもご苦勞の多かった方がおられるのでは、と考えたりしています。
- ⑥ 暑中見舞を沢山いただきました。ご返事出せない方も多かったので、誌上よりお詫び申し上げます。ありがとうございました。
- ⑦ 九州支部の会員の方、近況を寄せて下さい。

(山品 元)

JID NEWS 1981/8・9

毎月1回発行 頒価250円

昭和56年9月25日発行

発行・社団法人日本インテリアデザイナー協会

(日本インテリアデザイナー協会月報1981年通巻第109号)

編集・社団法人日本インテリアデザイナー協会総務委員会

中村圭介・川野明・増本敏治・山田晃・山下礼子・

高田紀久枝・杉富士雄・鈴木栄二・山品元・前原誠・

下島資子・佐藤勝・古谷悟嗣・藤川宏允(関西)

印刷所・広洋印刷株式会社

振替・東京8-76389